

教育  
指導課

## 生徒の歌声が会場に響く 令和5年度庄原市中学校合唱コンクール



最優秀賞を獲得した口和中学校の生徒の皆さん

11月14日、市内の全中学校が一室に会する合唱コンクールを庄原市民会館で開催し、各学校が課題曲「翼をください」と自由曲を披露しました。

生徒は練習の成果を發揮し、心一つにして美しい歌声を響かせました。また、歌詞に込められた意味を表現して歌おうとする姿に、会場からは大きな拍手が送られました。残念ながら、比和中学校は体調不良の生徒が多く、出場はできませんでしたが、文化祭で発表した合唱の映像を流し、来場者で視聴しました。

生徒は「みんなの仲が深まり、今までで一番良い合唱ができた」「今までの練習の成果を十分に發揮することができた。練習では



優秀賞を獲得した庄原中学校の生徒の皆さん

大変なこともあったけど、全員で、全力で歌い切ることができた」など、自分たちの当日までの取り組みを振り返るとともに、お互いの合唱を称え合いました。

中学生の合唱後には、地元コーラスグループ庄原女声ヴィオレッテの皆さんの美しい歌声で、コンクールに華を添え、最後には生徒と来場者全員で課題曲を合唱しました。

来場者からは「中学生が歌で気持ちを一つにして頑張っている姿にとっても感動した」「歌声を聴いて涙が出そうになった。最後の全体合唱もすごく良かった」など、生徒の一生懸命な姿に感動する内容の声が多く寄せられました。

なお、参加した3年生は、5年後の「二十歳を祝う会」で、今回の課題曲を合唱する予定です。

## Camera Report カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。 行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



## 師走の庄原を力走！

第72回庄原市スター式駅伝大会・12/3

No.1

庄原に冬の訪れを告げる恒例の「庄原市スター式駅伝大会」が、上野総合公園陸上競技場を発着点に開催されました。

コースは市内を走る6区間、男子16.0キロ、女子15.6キロです。本年は、中学、高校、職域、一般など6部門に、42チーム252人が出場し、健脚を競いました。

開会式では、庄原中3年の藤岡一心さんが力強く選手宣誓を行いました。

大会が始まると、たすきをかけたランナーは日頃の



▲選手宣誓をする藤岡さん



▲トップのチームがゴール

練習の成果を發揮し、沿道からの熱い声援にも背中を押されながら、力強く走っていました。

女子中学校の部で優勝した、庄原中学校Aチームの藤岡野々花さんは「地元の大会なので、他地区には負けたくなかった。全員が力を出し切った」と話しました。



▲一斉にスタート



▲競技場から市内のコースへ駆け出すランナー



## 備後庄原駅を「いいいろ」に

いいいろ塗装の日・11/16

No.7

語呂合わせから「いいいろ塗装の日」とされている11月16日に、日本塗装工業会広島県支部北部地区の会員4人が、備後庄原駅ホーム内の待合室の塗装を行いました。

この活動は、同地区に加入している市内の塗装業者が、市の公共施設などの塗装作業をボランティアで行っているもので、本年は、備後庄原駅の駅舎と同じ茶色のペンキで、待合室の内外壁やベンチを丸一日かけて塗り直しました。

地区担当の久保崇俊さんは「きれいになった備後庄原駅をぜひ利用してもらいたい」と話しました。



▲ムラなく塗装作業を行う塗装業者の皆さん

## 霜月に熱い激走!

第41回口和駅伝大会・走ろう会・11/23

No.6

庄原市スポーツ協会口和支部が主催する「第41回口和走ろう会・駅伝大会」が口和総合運動公園で開催されました。

当日は、「口和走ろう会」に小学生30人、一般女子1人、一般男子4人の計35人が参加し、2キロの周回コースで健脚を競いました。また、「駅伝大会」には、4部門11チームが参加し、5区間12キロのコースでたすきをつなぎました。

沿道や中継所では、保護者、家族、地域の人が温かい声援と拍手を送り、選手の走りを支えました。

参加者は「沿道の声援も心強く、仲間とともに日頃の練習の成果を十分に発揮できた」と話しました。



▲選手が一斉にスタート!

## ボランティアでまちをきれいに

市役所本庁舎駐車場でボランティア活動・11/21

No.3

庄原市シルバー人材センターの会員が、地区別に班を設けて市内各地で草取りや清掃活動が行われました。

当日は、庄原地区班の10人が、市役所本庁舎駐車場の花壇の草取りを行ったほか、これからが見頃となるパンジーやクリサンセマムなどの花の植え替えを行いました。

参加した会員は「季節の花を植えることで、市役所回りが少しでも華やかになり、市役所を訪れる人が気持ちよく利用できればうれしい」と話し、精力的に取り組んでいました。



▲花壇の植え替えを行う会員

## 交通事故ゼロを目指して

交通安全特別街頭指導・12/1

No.2

12月1日～10日の「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」期間に合わせ、西城町にある国道183号沿いの「平子夢の橋前広場」で特別街頭指導が行われました。

当日は、庄原警察署、庄原市交通安全協会西城分会・八鉾分会、市役所西城支所から10人が参加しました。広場の前を通行する車両の運転手へ、信号に見立てた赤・青・黄の3色餅やチラシ、啓発品100セットを配布し、安全運転、交通事故防止を呼び掛けました。

同協会平田敦さんは「5年振りに街頭指導をし、ドライバーに直接呼び掛けることができた。交通事故のない安全で安心なまちになってほしい」と話しました。



▲ドライバーへ交通安全を呼び掛け

## 東城で響く歌声

東城コールエコー創立45周年記念コンサート・11/19

No.9

東城文化ホールで、女声合唱グループ「東城コールエコー」の45周年記念コンサートが開催され、約350人の聴衆がハーモニーを楽しみました。

原爆で傷ついた女の子の絵本「まちんと」の歌や、東城の美しい景色を歌にした「ふるさと讃歌」など、同団体が長年歌い継いできた楽曲のほか、中島みゆきさんの名曲など9曲を披露しました。また、ピアニストの遠藤さつきさんが友情出演、市内のバンドユニットARABOHSがゲスト演奏し、会場を盛り上げました。

代表の近藤久子さんは、「メンバーが高齢化しているが、椅子に座ってでもステージで歌い続けている。歌うことで元気になる。これからも皆さんに元気と笑顔を届けていく」と、今後の活動に意欲を見せました。



▲美しいハーモニーを響かせる東城コールエコーメンバー

## 庄原は昔、海だった!?

化石発掘体験講座・11/11

No.8

比和自然科学博物館で化石発掘体験講座が開催され、市内外から39人が参加しました。

参加者は、午前中に市内の発掘現場で、ハンマーやタガネを使い、1,600万年～1,500万年前の地層の岩石から化石を発掘しました。午後からは、比和自然科学博物館に移動し、発掘した化石に付いた余分な岩石などを丁寧に落とす仕上げ作業を行いました。

サメの歯、ホタテ、魚、植物のほか、琥珀など講師も驚くほどたくさんの種類の化石が発掘され、化石が見つかる度に参加者の歓声が上がりました。

参加した小学生は「サメの歯が発掘できると思っていなかったのがうれしかった。庄原が昔海だったことがよく分かった」と話していました。



▲ホタテの化石を発掘!

## 人とつながる大切さを再確認

地域で元気を育てる会・11/15

No.5

上高自治振興センターで、一般介護予防事業「地域で元気を育てる会」が開催され、20人が参加しました。この事業は、地域の集いの場を充実させることを目的に企画されました。

ステージでは、高野地域の医療・福祉・行政で構成する地域ケア会議のメンバーが、人とのつながりや水分摂取の大切さを、ユーモアたっぷりの寸劇で伝えました。

寸劇に出演した特別養護老人ホーム故郷一高野の岸田弘子さんは「コロナ禍の影響は大きく、今も孤立を感じている人が多い。誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、専門職が協力し取り組みを続けたい」と話しました。



▲寸劇を鑑賞する参加者

## いざというときに備えて

口和小学校防犯教室・11/27

No.4

庄原警察署口和駐在所の警察官を講師に招き、口和小児童と教職員を対象とした「防犯教室」が開催されました。当日は、不審者役を演じる警察官を相手に、教職員が不審者を確保する訓練や、教室の入口にバリケードを築き、侵入を防ぐ訓練を行いました。不審者が侵入することは、児童や教職員に伏せられており、警察官の迫真の演技もあって、緊張感のある有意義な訓練となりました。

その後、児童へ危険な状況に遭遇した場合の自己防衛手段の指導や、その状況を警察官や教職員などへ正確に伝える練習を行いました。

教職員は「有事には、適切な行動を取ることが困難になるので、訓練を重ねていきたい」と話しました。



▲さすまたで不審者を確保